

JVMA通信

■ No.3 (平成24年1月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



ばるちゃん

■ No.3 (平成24年1月号) 目次

■ 新年賀詞交歓会開催報告

・新年賀詞交換会の開催 1

■ 年頭のご挨拶

・田淵 宏政
（社）日本バルブ工業会 会長 2

・田中 哲也
経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 2

■ ベトナム視察報告

管野 広一
株本山製作所
製造部 調達Gr マネージャー代理 4

■ 関係官庁・団体からのお知らせ

・平成24年経済センサス-活動調査について 6

・中小企業無料弁護士相談会について 7

・中国国際輸入製品博覧会(出展企業募集)について 7

・「がんばろう日本！
知的財産権活用企業事例集2011」の発刊について 7

■ 当会の広報活動について

・「ばるちゃんPC用壁紙」について 8

・「バルブフォト五七五」コンテストについて 8

■ 今後の主な行事予定(セミナー開催予定)

・企業の国際化と社員の国際化(セミナー) 8

・技術研修会 8

■ 工業会活動報告

(平成23年11月～平成24年1月) 9

■ 会員の動向

..... 13

■ 新年賀詞交歓会開催報告

■ 新年賀詞交歓会の開催

開催日時: 平成24年1月17日(火) 12:30～14:00

開催場所: 銀行倶楽部 3階 大ホール

出席者数: 171名(来賓: 51名、会員: 120名)

去る1月17日(火)、当会の「新年賀詞交歓会」が東京・銀行倶楽部において開催された。(会長挨拶: 田淵宏政会長/来賓代表挨拶: 田中哲也氏(経済産業省製造産業局素形材産業室 室長)/乾杯: 中村善典副会長/中めめ: 矢島荘衛副会長)

昨年は、東日本大震災の発生、台風による水害、円高、欧州の財政危機、タイでの大洪水など、様々な困難に直面した1年であっただけに、出席された方々からは一様に、「活力ある年！」との声が聞かれた。



中村副会長による「乾杯」で開宴



歓談の様子

■年頭のご挨拶

■年頭所感 ■

社団法人日本パルプ工業会
会長
田淵 宏政



平成24年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

工業会会員の皆様方には平素から多大なるご協力賜り厚く御礼申し上げます。

また、昨年の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大震災、大津波、原発事故の三重苦で3・11後の日本経済は3・10までの延長線上にはありません。有事を処理できない日本の技術力に対する世界的な信頼感の失墜と、長引く放射線汚染処理が生む内外での不安感、そして日本からの供給が途切れたサプライチェーンが、世界市場獲得の好機を見出す韓国、中国企業への需要シフトを生みました。タイで起きた洪水の影響も重なり、拍車をかけたと感じます。ギリシャ経済危機に端を発した欧州経済の混乱は、世界規模での経済危機に繋がろうとしています。また、この金融不安がもたらす欧米市場の消費者マインドの変化により、東南アジア諸国の産業が多少なりともダメージを受け、特に中国経済は今後の舵取りが難しくなろうとしています。この中で日米は両国の経済運営について相協力していくことを見据えています。

一方、私どもパルプ業界を取り巻く環境は、素材価格の高騰に加え、円高が進み先行きの不透明感はぬぐえません。また、アジア地域(アセアン諸国含む)における FTA(自由貿易協定)の方向性によっては、関税が撤廃され、海外の製品が今まで以上に流入してきます。海外製品が日本独自のニーズに応えられるかは未知数であり、他の自由貿易協定地域で起きたメリットと同じことが、日本が結ぶ地域間においても起こるとは限らず、むしろ当工業会にとって望まない方向へ進む可能性もあります。当工業会会員各位は今にも増してその備えを充足させ、対応されていくことと思います。

当工業会の平成24年度活動方針は、パルプ産業ビジョン『日本ブランドの恒久的な地位確立をめざして』の第2期計画アクションプランを実行中です。2007 年度のパルプ産業ビジョン制定から一部見直し、再検討を行いました。信頼され成長するパルプ産業を目指し、健全な取引慣行の定着を掲げています。また品質管理に対しては、これまでの経験を踏まえ、しっかりと体制が構築されるよう啓発を続けていきたいと思ひます。多様化するユーザーニーズに十分対応して行くことが、当パルプ工業会に課せられた使命であり、将来のパルプ業界発展の基盤につながるものと確信しております。当工業会は平成24年6月頃に社団法人から一般社団法人への移行申請を進めていく予定です。会員各位の皆様にご協力をお願いし、確かな形にしてまいります。

今年は選挙の年でもあります。アメリカ、ロシア、フランス、韓国等 12 カ国以上で大統領選等があり、各国とも国内で手一杯の状況です。もしかすると日本でも……。そんなことを考えず、着実に一歩ずつ前に進んで行き、活力みなぎる良い年となるよう祈念いたします。

おわりに、関係各位の倍旧のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご繁栄とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

■年頭所感 ■

経済産業省 製造産業局 素形材産業室
室長
田中 哲也



平成24年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、東日本大震災が発生し、各地で甚大な被害と犠牲をもたらしました。また、震災に伴う原発事故によって、多くの方々が避難を余儀なくされ、東日本を中心に電力供給不足に陥りました。被災地の復興は、本年も引き続き取り組まなければならない最重要課題です。

また、国外に目を転じれば、欧州の債務危機、米国経済の不振、中国経済の減速、急激な円高、さらには、タイでの大規模洪水など、対外経済環境も大変厳しい状況でした。

こうした状況の中で、我が国の立地競争力は低下し、我が国のものづくり企業は海外移転を急速に進め、本来、我が国に残すべきものづくりの現場や機能までも海外に移転するという動きが懸念されました。

このため、経済産業省では、平成23年度第三次補正予算を活用し、サプライチェーンの中核となる部素材産業や高付加価値成長産業の国内立地の促進、自家発電設備の導入補助等を実施してきたところです。

かかる認識の下、本年は、素形材産業室として、以下のような取組に注力していきたいと考えています。

第一に、グローバル需要を獲得するための海外展開を支援します。

多数の中小企業からなる我が国の素形材業界にとっても、海外需要の取り込みによるグローバルな収益構造の構築の必要性は論を待ちません。また、事業の海外展開は、事業構築全体の効率化による生産性の向上や、海外での新たな取引関係構築による“自立した”中小企業へのステップ・アップにもつながります。海外展開の必要性を論ずる段階は既に過ぎ、どのような戦略で海外展開するのかということ論ずる時期にきています。

素形材産業室では、昨年、アジアの新興国における素形材産業の現地調査を行うため、ベトナム及びインドに「素形材ミッション」の派遣を実施し、我が国から延べ30社を超える素形材企業・団体が参加しました。

本年は、こうした「素形材ミッション」の充実に加え、販路開拓や展示会出展支援などを日本貿易振興機構と連携して行い、商談機会の提供や海外企業とのマッチングなどの支援を推進したいと考えています。

第二に、強い企業をもっと強くする取組を支援します。

国内に良いものづくり現場を維持するためにも、また、海外でグローバルに活動するためにも、企業が強い競争力を有していることが不可欠です。国内需要が伸び悩む中で、依然として多くの素形材企業がひしめき合い、業界全体として低い収益体質が続いています。また、CAD/CAM等のソフトウェアや工作機械の高性能化によって、いわゆる摺り合わせ技術といわれる我が国のものづくりの競争優位性も、大規模な設備投資を武器に、アジアの新興企業におびやかされつつあります。

我が国の素形材産業がより付加価値の高い産業へと成長するためには、環境変化に対応できる強い企業が必要です。今後求められる素形材企業像としては、高い技術力で差別化される企業、海外需要を積極的に収益化できる企業、新分野需要を開拓・収益化できる企業、アジアの新興企業に負けないコスト競争力のある企業などが挙げられます。

素形材産業室としては、中小企業の研究開発を支援する戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）、産活法に基づく事業再構築等の支援、海外企業のM&A支援などを通じて、強い企業をより強くするような取組を積極的に支援していきたいと考えています。また、関係各位におかれては、工業会同士の連携、工業会と学会との連携、地域に根差した異業種連携などを大胆かつ積極的に進めていくことを大いに期待します。

第三に、素形材産業の魅力の発信、人材育成を支援します。

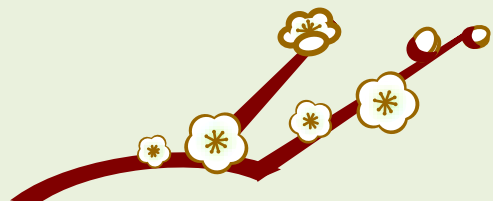
素形材産業は「ものづくりの原点」であり、我が国経済の発展、豊かな社会の構築を支える重要な産業です。しかし、素形材業界では、企業が求めるレベルの人材を採用することに変苦勞しています。

昨年、素形材産業室では、関係企業の方々の御協力を頂きながら、「オープンファクトリー」を実施し、これからの業界を担う大学生などに対して、素形材企業の実態や魅力を伝えるための工場訪問を行いました。本年も素形材企業の魅力や重要性を若者達にアピールし、素形材業界を担う人材の確保につながるような企業訪問ツアーを、大学等と連携して実施していきたいと考えています。

また、本年4月からは、ものづくり現場のOBの方々が、現場従業員の指導者になれるようなスキルの習得を支援する「ものづくり指導者養成支援事業」を開始します。

素形材産業室といたしましては、これら三つの取組を重点的に実行していくことで、我が国素形材産業の更なる発展を実現していきたいと考えております。

最後に、本年は辰年です。天に昇る辰の如く、本年が皆様方にとって躍動と飛躍の年となることを祈念しております。



■ベトナム視察報告

経済産業省の主催により、平成23年9月に7日間の日程で実施されたベトナムへのミッション派遣(委託先:株野村総合研究所)については、当会会員企業から4名の方々が参加された。

高い経済成長を続けるベトナムは、中国やタイ等へのアクセスに優れている点や、労働力が安く勤勉な国民性にも注目されており、今回の視察では、ハノイ、ホーチミンでの現地企業の工場見学、ベトナム政府との意見交換などが実施された。

今回、視察に参加された(株)本山製作所 菅野広一氏の視察概要報告を以下に示す。

■ ■ ■ ベトナム視察報告 ■ ■ ■

株式会社本山製作所
製造部 調達Gr マネージャー代理 菅野 広一

今回、日本バルブ工業会から推薦を頂き、経済産業省製造産業局素形材産業室が中心となって実施した、ベトナムとの産業連携促進のための素形材産業(裾野産業)の進出のあり方について調査研修する『ベトナム素形材ミッション』に参加させて頂きました。

1. ベトナム素形材ミッションの日程と訪問先

日時		訪問先	産業分野
9/11(日)	-	日本 ⇒ ホーチミン / 結団式	-
9/12(月)	AM	JUKIベトナム	工業マシン、精密鑄造 など
		JETROホーチミン	ベトナム投資環境の説明
	PM	CQS Precision Die Casting	ダイキャスト製品の製造
9/13(火)	AM	ホーチミン工科大学 機械工学科	ベトナムにおける機械系の技術者育成
		ホーチミン市内の機械部品市場 見学	チヨロン市場
	PM	DAN TIEN MECHANICAL COMPANY	機械加工・鑄造・熱処理
		SAMECO	機械加工・鑄造など
9/14(水)	AM	ホーチミン ⇒ ハノイ に移動	-
	PM	～午後、2グループ にて行動～	
		【A班】 MHI Aerospace Vietnam	航空機部品の製造
		【B班】 HTMP Vietnam	金型の製造、プラスチック成型
		～合流～	
		つくばダイキャスト	ダイキャスト製品の製造
9/15(木)	AM	(MPI)計画投資省	ベトナム政府機関
		(MOIT)商工省	ベトナム政府機関
	PM	部品調達展示商談会	-
9/16(金)	AM	タンロン工業団地Ⅱの見学	住友商事ベトナム
	PM	EMTC	バイク部品等の鍛造・製造
		JETROハノイ	中小企業センター
9/17(土)	-	帰国	-

2. ベトナム素形材ミッション参加者（順不同・敬称略）

No.	企業(省庁)名	氏名	所属・役職
1	経済産業省	田中 哲也	製造産業局 素形材産業室 室長
2	経済産業省	山屋 雄輔	製造産業局 素形材産業室
3	日高工業(株)	今村 順	代表取締役社長
4	中日本炉工業(株)	後藤 峰男	代表取締役社長
5	(株)ケイヴイシー	小林 紘一	代表取締役社長
6	(株)本山製作所	管野 広一	調達グループ マネージャー代理
7	(株)KVK	稲葉 亥正	取締役 生産本部長
8	金子産業(株)	手塚 雅也	営業部 4G課長
9	太平金属工業(株)	高木 博幸	営業統括部 担当部長
10	(株)イズミ	秋田 雄二	生産総括本部長
11	芙陽工業(株)	田中 義治	代表取締役社長
12	橋鍛工(株)	田村 大輔	取締役
13	(株)大宮日進	辻 幸美	管理部 生産管理課 営業係 主任
14	(株)コマツキャストック	中谷 兼武	特別顧問
15	(株)ナリタテクノ	成田 春樹	代表取締役社長
16	野村ユニソン(株)	野村 高城	生産革新本部 生産革新部 課長
17	マテック(株)	増山 武比古	代表取締役社長
18	(株)ゴーキン	三吉 弘通	代表取締役社長

事務局: (株)野村総合研究所 社会産業コンサルティング部 高木 伸朗/原 正一郎/横山 大輔

3. 参加した所感

経済産業省が本来目的としているのは、『ベトナムにおける裾野産業の育成』であり、ベトナムで日系企業が連携して仕事が行える様、各裾野産業にベトナムへの進出(投資)をサポートする為に、現地政府の関連機関やJETRO を通じ同様のミッションを主催して、今回で4回目であることを知りました。

参加企業の方々の中に、今回で3回目の参加になる方もいらっしゃいましたので、ベトナムへの関心の高さが伺えます。



9/12(月): JUKI ベトナム 視察



9/14(水): HTMP Vietnam 視察



9/15(木): 部品調達展示商談会 視察



9/16(金): EMTC 視察

しかし目的としている、裾野産業＝素形材産業を進出・発展させるには、まだ正直厳しいと思われ、原材料をベトナム国内では調達することが出来ない(厳しい)事で、その大部分は日本及び、中国や台湾・韓国方面からの輸入に頼らざるを得ないことや、先に進出し工場で一貫生産をしている日系企業は別として、協力・連携対象となる現地の中小企業の見学において、我々が普段用いているJISやANSIなどの共通となる規格の流通をあまり見る(確認する)ことが出来なかつた点では、製品の品質と安定を図ることは難しく、普段我々が行っている海外部品調達として取引できる材料・部品はまだ期待出来ないように思われました。

但しベトナム全体として見た場合、開発(開拓)する伸び代は大いに期待出来ます。

ここ数年間で物価上昇は半端な数字では無いようですが、逆にこの点を中国と比較している企業もいて、ベトナムを『中国+1(プラスワン)』として、タイやインドネシア及び 陸続きである中国へ“売る”為の販路として、第三国への生産輸出拠点として注目されていました。(また国民の平均年齢が 27.7 歳と非常に若く、この点も注目されています。)

ベトナム政府・関連機関から日系企業へは強い期待を持って呼びかけが有りましたが、安価な労働力や税制的な優遇措置だけでは判断で進出や展開を行うのは、まだ危険性が高いと思われ、我々日系企業側が『何を指し、何を行うか?』最初に大きく目標を設定するよりも、現地JETROの方の言葉をお借りしますが、進出を考えるならば、『事業を小さく生んで、大きく育てる』ことを基本としベトナムと向き合う必要があると思います。

最後に、異業種同士での情報交換により、大変参考になりました。



■ 関係官庁・団体からのお知らせ

■ 平成 24 年経済センサスー活動調査について【経済産業省・総務省】

経済産業省および総務省では、平成 24 年 2 月に「経済センサスー活動調査」を実施する。

この調査は、我が国の全産業分野における事業所および企業の経済活動の状況を全国のおよび地域別に明らかにするとともに、各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的として実施されるもの。

本調査により、我が国の全ての産業分野の経済活動状況、地域別の産業構造が明らかになるとともに、国・地方公共団体の産業政策等の様々な行政施策での利用や、国民の共有財産として、各方面で広く活用されることが期待されている。

本調査の趣旨、必要性をご理解の上、調査にご協力を。

- ・調査期日：平成 24 年 2 月に実施
- ・調査対象：全ての事業所、企業が対象
- ・調査事項：経営組織、事業所の開設時期、従業者数、事業所の主な事業内容、売上および費用の金額、事業別売上金額など
- ・調査方法：①支社等を有する企業(経済産業省担当)：国が委託した民間事業者を通じて郵送で調査(回答はインターネット利用可能)
②支社等を有しない企業(総務省担当)：都道府県知事が任命する調査員が訪問して調査
- ・調査スケジュール：
平成 23 年 12 月～平成 24 年 1 月に調査票等を配布
提出は平成 24 年 2 月～3 月末まで
- ・調査結果の公表方法および時期：
インターネット(e-Stat)および印刷物により公表
(速報集計結果)：平成 25 年 1 月末
(確報集計結果)：平成 25 年夏頃から順次公表予定

【経済センサスー活動調査のHP情報(総務省ホームページ)】

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/2012/index.htm>



■関係官庁・団体からのお知らせ

■中小企業無料弁護士相談会について【中小企業庁】

中小企業庁では、中小企業の取引に関する悩みについて、弁護士が無料で相談に応じる「中小企業無料弁護士相談会」を全国144会場で開催する。

開催時期：平成24年2月上旬～3月中旬

予約方法：下記ホームページまたは電話で申し込み。事前予約制（相談会場は、予約した方へのみお知らせする仕組み）

相談料：無料

※中小企業の取引についての悩みの解決を支援することを目的としているため、取引あつせん、経営、技術、金融、労働、交通事故等の一般法律相談の受け付けは不可。

【中小企業無料弁護士相談会ホームページ】 <http://www.sanka-jimukyoku.jp/>

【お問い合わせ先】

中小企業無料弁護士相談会事務局 TEL：0120-913-109(通話料無料) 受付 10:00～17:00(土日祝を除く)

■中国国際輸入製品博覧会（出展企業募集）について【JETRO】

日本貿易振興機構(JETRO)では、本年3月に中国江蘇省で開催される「中国国際輸入製品博覧会」において、ジャパン・パビリオンを開設する。現在、JETROでは、ジャパン・パビリオンへの出展企業(対象：機械分野)の募集を行っている。

「中国国際輸入製品博覧会（CIE2012）」

- ・会 期：平成24年3月29日(木)～31日(土)
- ・会 場：昆山国際会展センター(中国・江蘇省昆山市)
- ・主 催：中国国際商会(CCOIC)、江蘇省人民政府
- ・ジャパン・パビリオン出展対象分野：
 - 工作機械、金属加工機械、検査・測定設備、画像機器、その他関連技術・部品・工具
- ・出展申し込み締め切り：
 - 平成24年2月17日(金)



【お問い合わせ・出展申し込み先】

日本貿易振興機構

機械・環境産業部 機械・環境産業企画課（担当：松永、南澤 様） TEL:03-3582-4631

<http://www.jetro.go.jp/events/tradefair/20120116387-event>

■「がんばろう日本！知的財産権活用企業事例集2011」の発刊について【特許庁】

特許庁では、知恵と知財を武器に活躍している中小企業等の取組み事例を紹介した「がんばろう日本！知的財産権活用事例集」を刊行した。本書では、知的財産権を戦略的に活用し、下請企業からの脱却や新たなビジネスモデルの構築に成功した中小企業等の事例を紹介している。

本書は、特許庁のホームページよりダウンロードできる。

冊子は、全国57か所の「知財総合支援窓口」で無料配布。（詳細は、下記URLご参照）

【特許庁ホームページ】

http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/chushou/kigyou_jirei2011.htm



■ 当会の広報活動について

■ 「ばるちゃんPC用壁紙」について

当会では、バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」をモチーフにしたPC用の壁紙を2種類制作した。(下記、壁紙見本参照)
壁紙の画像は当会ホームページからダウンロード可能。癒しのアイテムとして、「ばるちゃん壁紙」のご活用を！

※モニターサイズは、[1280×1024] と [1280×800]の2種類

壁紙画像のダウンロード 【当会ホームページ】 http://www.j-valve.or.jp/valchan/valchan_wallpaper.html

(PC用壁紙見本)



■ 「バルブフオト五七五」コンテストについて ～ バルブの写真と川柳のコンテスト ～

当会では、あらゆる産業の『縁の下の力持ち』として陰ながらがんばっているバルブについて、より身近に、また改めてバルブの重要性を再認識していただくことを目的に、バルブの写真と川柳のコンテスト:「バルブフオト五七五」を開催中である。(私たちの生活の中でバルブがどのように役立っているかを「写真」とそれに相応しい「川柳」を添えて表現)

応募締切：平成24年1月31日(火)

応募要領：未発表のバルブの写真1点、およびそれに相応しい川柳1点の組合せで1作品とする。作品は郵送受付。

(応募資格は特になし。入選作品の著作権は、写真・川柳ともに(社)日本バルブ工業会に帰属)

表彰および賞金：最優秀作品(1名) 賞金 50,000 円／優秀賞(3名) 賞金 各 20,000 円／入選(5名) 賞金 各 10,000 円

発表：入賞者には平成24年2月末までに通知、入選作品は、平成24年3月下旬に当会ホームページで公開予定。

主催：(社)日本バルブ工業会

【本件に関する詳細およびお問い合わせ先】

(当会ホームページ)：<http://www.j-valve.or.jp/valveday/index.html>



■ 今後の主な行事予定(セミナー開催予定)

■ 企業の国際化と社員の国際化 (セミナー)【会員企業限定】

※開催案内は、いずれも会員企業宛に近日送付予定

開催日時・場所：平成24年3月8日(木) 14:00～16:00 (東京タワー前)機械振興会館

主催：(社)日本バルブ工業会 国際委員会

■ 技術研修会 (船舶用のバルブについて(仮題)／ごみ焼却プラント用のバルブについて(仮題)) 【会員企業限定】

開催日時・場所：平成24年3月22日(木) 13:30～16:30 (東京タワー前)機械振興会館

主催：(社)日本バルブ工業会 技術委員会

■工業会活動報告（平成23年11月～平成24年1月）

理事会

・第170回

24-01-17(火) 於:銀行倶楽部

出席者:40名

- (1) 新年賀詞交歓会開催要領について
- (2) 理事の交代について
 - ・長田 行雄 氏 → 大瀧 光夫 氏(東洋パルプ株)
 - ・浅岡 實 氏 → 唐澤 裕一 氏(東亜パルプエンジニアリング株)
- (3) 会員の退会について
 - ・株アクティフ(賛助会員):H24.4/1 付退会
- (4) 次期(平成24年5月)役員改選について
- (5) パルプ産業ビジョン実践に係る進捗状況について
 - ① 追補版アクションプラン進捗状況について
 - ② 工業会企業行動憲章(案)について
 - ③ 関連展示会出展について
- (6) 常勤理事退職慰労金支給規程(修正案)について
- (7) 新技術研究開発テーマ(平成23年度下期)採択について
- (8) 2012 FlowEx China(2012.6/6～8:上海)について
- (9) 2012 第6回中国国際流体機械展覧会
(2012.10/29～11/2:上海)について
- (10)「ダイレクトリ-2012」の製作について

幹部会

・第160回

23-11-15(火) 於:大阪ヒルンプラサウエスト「桃谷樓」

出席者:5名

主要審議事項:

- (1) 常勤理事退職慰労金支給規程(修正案)について
- (2) 平成23年度工業会事業活動中間報告について
- (3) 平成23年度「JV賞」表彰候補者の推薦について
- (4) 2012 FlowEx China(2012.6/6～8:上海)について
- (5) 2012 第6回中国国際流体機械展覧会
(2012.10/29～11/2:上海)について
- (6) 事務局職員退職金支給について

パルプ部会

◎幹事会・部会合同会議

23-11-18(金) 於:銀行倶楽部

出席者:14名

主要審議事項

- (1) 各分科会・WGの活動報告
- (2) パルプ産業ビジョン追補版アクションプランの関連委員会活動報告
- (3) 部会長・副部会長会議報告

◎工業用分科会

○電力弁G会議

23-12-8(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 中期決算の状況
- (2) 原発事故以降の国内市場の動向
- (3) 資材の価格変動による影響

○鑄鍛鋼弁G/ステンレス・ボール弁G合同会議

23-11-25(金) 於:大阪鐵鋼会館

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 国内・海外市場の全般的な動向について
- (2) 震災後の樹脂製資材の不足と調達に対応について
- (3) 原発停止による代替エネルギー市場への対応について

◎建築用分科会

○建築用合同G会議

(ステンレス・ボール・継手G、青黄銅・鑄鉄弁G、バタフライ弁G 合同)

23-11-24(木) 於:大阪鐵鋼会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 中期決算の状況について
- (2) 震災後の東北での住宅・ビル等の着工状況について
- (3) 関西・関東の市場動向について

◎産業用弁分科会

○彦根産業用弁G・彦根船用弁G・水道用弁G合同会議

23-12-20(火) 於:やす井

出席者:11名

- (1) 3部会活動報告
- (2) その他、情報交換

24-01-24(火) 於:彦根支部会議室

出席者:11名

- (1) 3部会活動報告
- (2) その他、情報交換

◎船用弁分科会

23-11-25(金) 於:メルパルクOSAKA

出席者:4名

- (1) 海外調達品の模倣品・不具合品について
- (2) 造船受注について
- (3) 近畿造船業の上半期の統計について

自動弁部会

◎幹事会・部会合同会議

23-11-30(木) 於:ホテルサンパレス球陽館

出席者:8名

主要審議事項

- (1) バルブ産業ビジョン追補版アクションプランの関連委員会活動報告
- (2) 自動弁部会・アクションプランに基づく活動方針について
- (3) 次期部会長・副部会長候補者について

○見学会

23-11-30(木)

見学先: 沖縄電力(株) 牧港火力発電所

参加者: 8名

水栓部会

◎幹事会

23-12-08(木) 於: 機械振興会館

出席者: 9名

部会審議事項の事前協議を行った。

◎部会

23-12-08(木) 於: 機械振興会館

出席者: 23名

主要審議事項:

- (1) 消費生活用品の重大事故報告について
- (2) 巧水(たくみ)スタイル推進チーム活動状況について
- (3) 給水栓標準化小委員会審議報告について
- (4) 止水栓標準化小委員会審議報告について
- (5) 保証小委員会審議報告について
- (6) 技術小委員会審議報告について
- (7) 節湯WG審議報告について
- (8) 2012 FlowEx China(2012.6/6~8: 上海)について
- (9) Kitchen & Bath China(2012.5/23~26: 上海)視察団について
- (10) 広報活動報告について

◎給水栓標準化小委員会

23-11-17(木) 於: 機械振興会館

出席者: 9名

23-12-19(月) 於: 機械振興会館

出席者: 14名

主要審議事項:

- (1) 日水協水撃性能試験測定器について
- (2) 長住協の水栓金具標準化対応協議について
- (3) 構造材質基準見直しの法律改正状況について
- (4) JIS B 2061 改正について
- (5) 節湯 JIS 化について
- (6) 公共建築工事標準仕様書の回答について
- (7) 仮設住宅寒冷地対応の情報連絡について

◎保証小委員会

23-12-21(水) 於: 機械振興会館

出席者: 8名

主要審議事項:

- (1) 補修部品供給期間について
- (2) 水栓金具の耐用年数・部品保有期間ガイドライン見直しについて
- (3) 水栓類の維持管理・耐用年数等について
- (4) 凍結情報の告知について
- (5) 事故情報について

◎技術小委員会

23-11-01(火) 於: 機械振興会館

出席者: 8名

23-12-14(水) 於: 機械振興会館

出席者: 12名

主要審議事項:

- (1) 海外材料メーカー・水栓メーカーの情報・調査について
- (2) 新技術研究開発プロジェクトについて
- (3) 管用平行ねじ「PF」について
- (4) 伸銅メーカーへのプレゼン依頼について

◎節湯WG

23-11-24(木) 於: 機械振興会館

出席者: 6名

23-12-20(火) 於: 機械振興会館

出席者: 10名

24-01-18(水) 於: 機械振興会館

出席者: 10名

主要審議事項:

- (1) 関係3団体(BEC、BL、建産協)における節湯型機器に関する審議状況報告及び対応について
- (2) 節湯 JIS 化に係る試験方法の検討
- (3) 節湯 C 案の基準検討

部会長・副部会長会議

23-11-04(金) 於: 機械振興会館

出席者: 8名

主要審議事項

- (1) バルブ産業ビジョン追補版アクションプランの関連委員会活動報告
- (2) バルブ展示会タスクチームの活動報告
- (3) 3部会の活動報告

ビジョン委員会

23-11-25(金) 於: 機械振興会館

出席者: 11名

主要審議事項:

- (1) 人材の確保・育成・定着について
- (2) 講演会「コンプライアンスとCSR 推進のために」報告
- (3) 企業行動憲章案の検討
- (4) 災害時の支援活動について
- (5) 国内外の技術・市場調査チームの活動方針について

(6) 「バルブ産業ビジョン追補版」アクションプランの進捗状況について

◎国内外の技術・市場調査チーム

23-12-13(火) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) メンバー交代について
- (2) 各部会宛アンケート結果について
- (3) 今後の活動内容の検討

広報委員会

23-11-02(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) バルブ展示会タスクチーム活動報告
- (2) ばるちゃんグッズについて
- (3) JVMAサブキャッチフレーズ募集について
- (4) 小中学生向け広報案について
- (5) バルブの日新聞広告出稿の検討
- (6) バルブフォト五七五コンテスト実施について
- (7) 懸賞論文実施案について

23-12-07(水) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) バルブ展示会タスクチーム活動報告
- (2) バルブフォト五七五コンテスト応募状況について
- (3) JVMA サブキャッチフレーズ応募状況について
- (4) バルブの日新聞広告について
- (5) 来年度予算の検討
- (6) ばるちゃんグッズについて
- (7) 小中学生向け広報案について

◎バルブ展示会タスクチーム

23-12-01(木) 於:機械振興会館

出席者:5名

主要審議事項:

- (1) ブース装飾業者の選定
- (2) 出展スケジュールについて
- (3) 展示内容について

24-01-16(月) 於:機械振興会館

出席者:5名

主要審議事項:

- (1) ブース装飾業者の選定
- (2) 理事会申請予算について

技術委員会

23-12-15(木) 於:機械振興会館

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 新技術研究開発プロジェクトについて(平成23年度下期)
- (2) 若手社員研修会について
- (3) 技術研修会について
- (4) バルブ設計データブックについて

◎環境WG

23-12-08(木) 於:機械振興会館

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 中国・危険化学品安全管理条例について
- (2) 工業会HP環境情報の更新
- (3) 環境適合評価ツール検証について

○見学会

23-11-22(火)

見学先:小島プレス工業(株)

「グリーンITマネージメント業務」の視察

出席者:7名

国際委員会

23-12-21(水) 於:機械振興会館

出席者:9名

- (1) 平成23年度後期～平成24年度の国際委員会主催講演会の選定について
- (2) 安全保障貿易管理制度説明会報告

バルブ技報編集委員会

24-01-06(金) 於:機械振興会館

出席者:9名

- (1) 通巻第68号制作状況について
- (2) その他

バルブ用語 JIS 改正原案作成委員会

◎委員会

24-01-23(月) 於:機械振興会館

出席者:20名

主要審議事項:

JIS B 0100:1984(バルブ用語)の改正を目的に、改正原案の検討を行った。

◎分科会

23-11-10(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

JIS B 0100:1984(バルブ用語)の改正を目的に、改正原案に対する本委員会からの指摘事項の検討を行った。

調節弁規格作成委員会

◎調節弁規格作成委員会WG

23-12-12(月) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 国際投票について
- (2) JIS B 2005-1/4 改正原案審議
- (3) LOP について

24-01-24(火) 於:(株)山武 藤沢テクノセンター

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) LOP について
- (2) その他

ISO/TC153/SC1 国内対策委員会

23-11-18(金) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) ISO/TC67/WG10 の動向について
- (2) 若手社員研修会について
- (3) 各WGの活動状況について
- (4) ISO/TC8/SC3 の動向について
- (5) 日本の国際標準化の取り組みについて

ISO/TC185 対策委員会

23-11-21(月) 於:機械振興会館

出席者:16名

主要審議事項:

- (1) 国際投票について
- (2) ISO4126-10 JIS 規格化について
- (3) API 及び ASME に関する解説

フランジレスバルブ標準化委員会

◎委員会

23-12-20(火) 於:機械振興会館

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) フランジレス形バルブ性能実証試験報告について
- (2) フランジレス形バルブ性能実証試験のFEM解析について
- (3) フランジ締結体への内力係数法の適用について
- (4) 平成23年度成果報告書とりまとめ内容について
- (5) フランジレス形バルブに関する JIS 原案たたき台取りまとめについて

○フランジレス形バルブ性能実証試験見学会

23-11-18(金)

見学先:(株)清水合金製作所

参加者:11名

・フランジレス形バルブの性能に係る曲げ強度、漏えい性能試験状況を視察。試験装置、試験方法等について質疑応答が行われた。

安全保障貿易管理制度説明会(適格説明会)

23-12-06(火) 於:機械振興会館

参加者:24名

テーマ・講師

- (1) 「安全保障貿易管理について」
長谷 亮輔 氏
経済産業省 貿易経済協力局 上席安全保障貿易審査官
- (2) 「法令順守のポイントについて～違反事例と自主管理～」
池田 秀俊 氏
経済産業省 貿易経済協力局 安全保障貿易検査官

支部だより

東京支部

○役員会

23-11-08(火) 於:TOTO(株)歴史資料館内会議室

出席者:20名

主要審議事項:

- (1) 東京支部秋期会員総集会収支報告について
- (2) 平成23年(1～8月)バルブの生産および輸出入状況について
- (3) 法人移行に伴う作業の進捗状況について

24-01-17(火) 於:銀行倶楽部

出席者:21名

主要審議事項:

- (1) 新年賀詞交歓会開催要領について
- (2) 東京支部役員会忘年会、ゴルフ大会収支報告について
- (3) 次期(平成24年5月)東京支部役員改選について
- (4) 会員の退会について
- (5) 平成24年度東京都助成事業説明会(主催:東京都中小企業振興公社)について
- (6) 次年度支部役員会開催回数の削減について

○役員会見学会

23-11-08(火)

見学先:TOTO(株)小倉第一工場/TOTO歴史資料館

参加者:6名

○役員会ゴルフ大会

23-11-09(水) 於:九州ゴルフ倶楽部 八幡コース

参加者:5名

優勝:中村 善典 氏(金子産業(株))

東海支部

○新年祝賀会

24-01-26(木) 於:岐阜グランドホテル

参加者:11名

○懇親ゴルフ大会

24-01-26(木) 於:岐阜関カントリー倶楽部

参加者:10名

優勝:新木 義和 氏(株)岐阜カクダイ製作所

彦根支部

○滋賀バルブ協同組合・日本バルブ工業会彦根支部合同

忘年会

23-12-20(火) 於:やす井

参加者:14名

○新年賀詞交歓会(滋賀バルブ協同組合との共催)

24-01-21(土) 於:やす井

参加者:16名

○役員会

23-12-08(木) 於:彦根支部会議室

出席者:5名

(1) 3部会活動報告

(2) 情報交換、その他

23-12-20(火) 於:彦根支部会議室

出席者:5名

(1) 支部運営活動について

(2) 情報交換、その他

近畿支部

○新年互礼会

24-01-27(金) 於:大阪新阪急ホテル

参加者:48名

○役員会

23-11-28(月) 於:曾根崎新地「ぼうず」

出席者:10名

主要審議事項:

(1) 幹部会審議事項報告について

■会員の動向

社名変更

平成24年2月(2月2日付変更予定)

新社名:株美工(旧社名:株岐阜カクダイ製作所)

平成24年4月(4月1日付変更予定)

新社名:アズビル株(旧社名:株山武)

代表者変更(敬称略)

・タイコ フローコントロールジャパン(株)

平成23年10月 代表取締役 細川 勉

・株北川鉄工所

平成23年10月 代表取締役社長 北川 茂樹

・東亜バルブエンジニアリング(株)

平成23年12月 代表取締役社長 唐澤 裕一

・東洋バルブ(株)

平成24年1月 代表取締役社長 大瀧 光夫

・清水工業(株)

平成24年1月 代表取締役社長 清水 康裕

・岡野バルブ製造(株)(平成24年2月28日付就任予定)

平成24年2月 代表取締役社長 岡野 正紀

移 転

・岸上バルブ(株)

新住所(平成24年1月5日より、本社・八尾工場移転)

〒581-0042 大阪府八尾市南木の本 2-54

TEL:072-923-1663 FAX:072-992-1263

(TEL・FAXの変更はなし)

お悔み

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

・株岐阜カクダイ製作所

相談役 新木 勝己 殿(平成23年12月23日ご逝去)

■事務局からのお知らせ

■近畿支部事務所の閉鎖について

平成24年3月末をもって、当会近畿支部事務局の事務所(大阪市中央区難波 2-3-11 難波八千代ビル TEL:06-6213-0218)を閉鎖することになりました。

平成24年4月以降の近畿支部業務については、本部にて対応いたしますが、事務所閉鎖の諸準備もありますので、平成24年3月から、近畿支部宛のご連絡は、本部(東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL:03-3434-1811)へお願いいたします。

近畿支部事務局が担当していた東海支部業務についても、同様に本部宛にご連絡をお願いいたします。

平成24年1月30日発行 ■■■ JVMA 通信No.3 ■■■

(発行元) 社団法人 日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

